

青少年の意識等に関する 調査報告書

概要版



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」

令和6年3月
岡山県

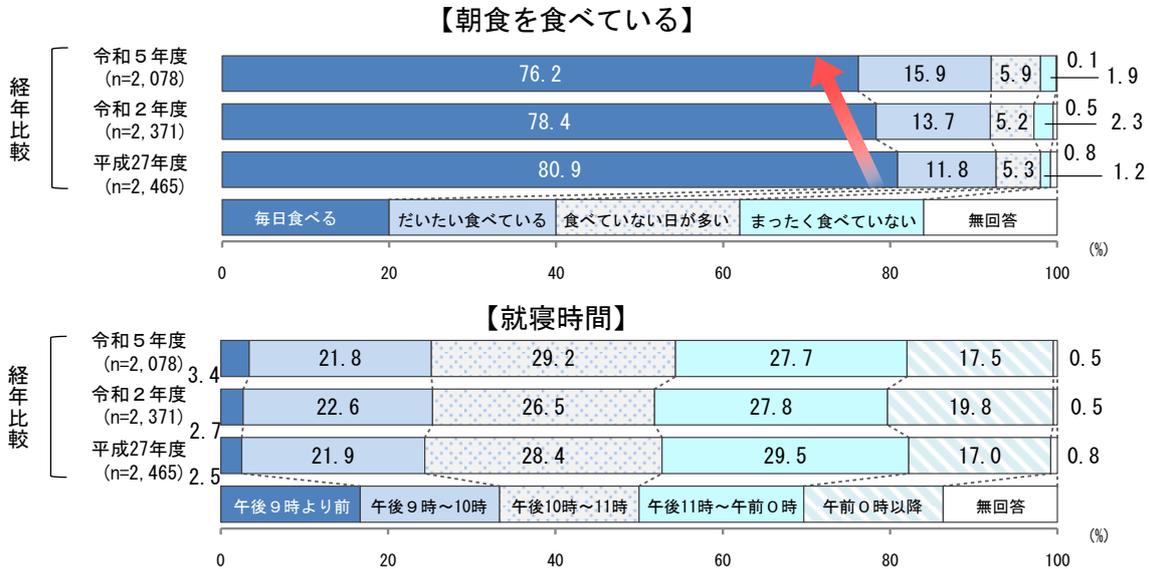
1 家庭生活について

朝食及び就寝時間

児童生徒

○朝食を毎日食べている児童生徒の割合は減少傾向にある。

○児童生徒の就寝時間についての変化はみられない。

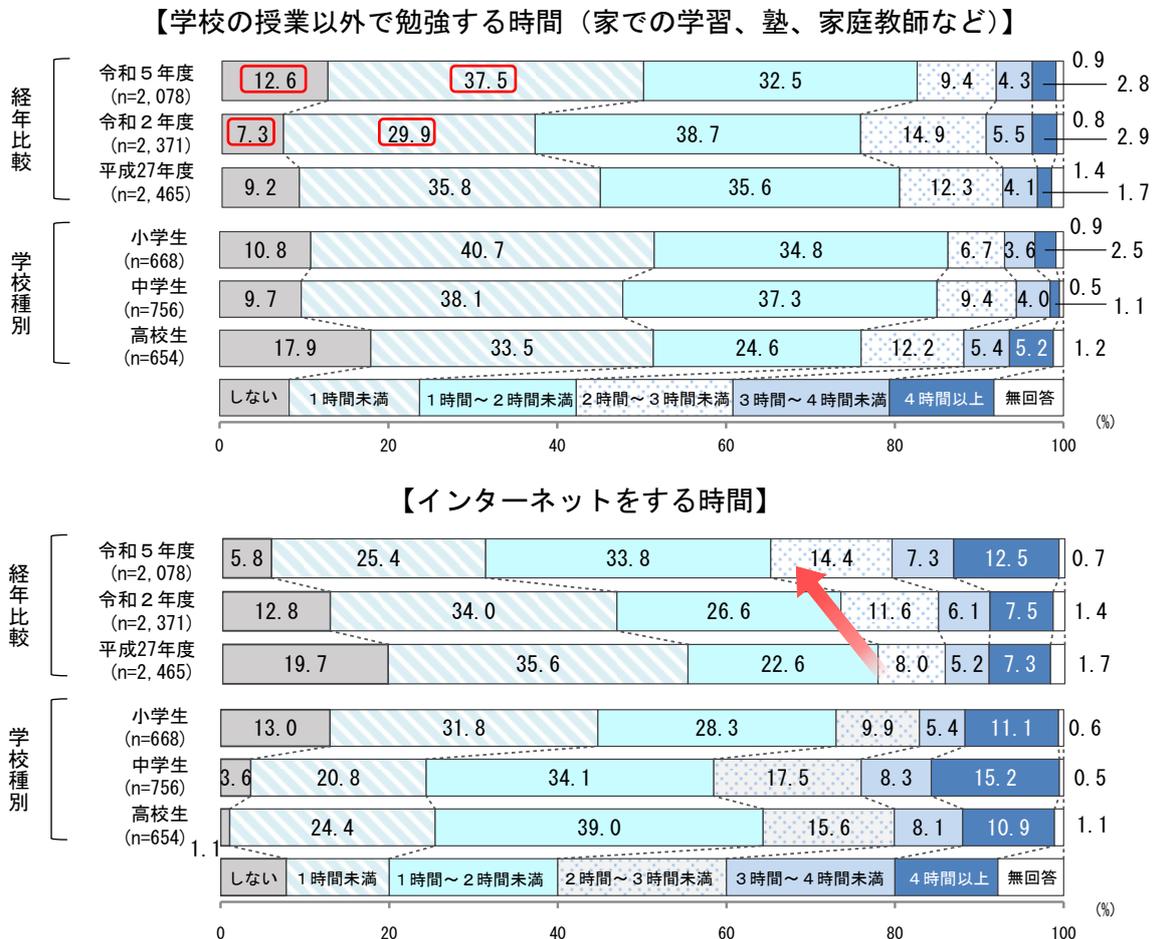


平日に費やす時間

児童生徒

○学校の授業以外での勉強時間は前回調査と比較して「しない」・「1時間未満」の層が増加した。

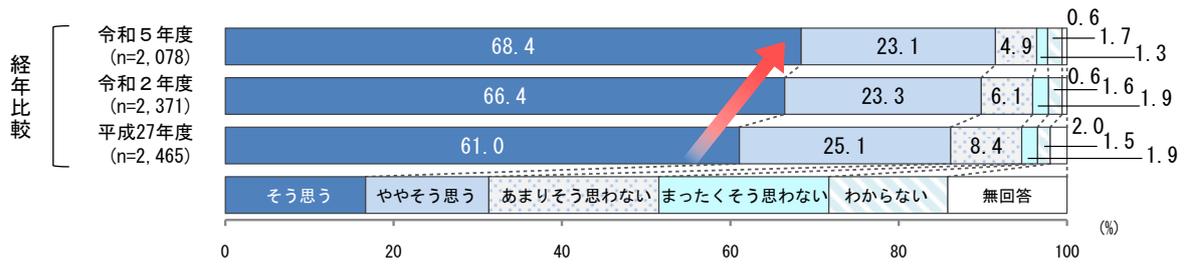
○インターネット利用時間は増加傾向にある。



家庭での生活は楽しい

児童生徒

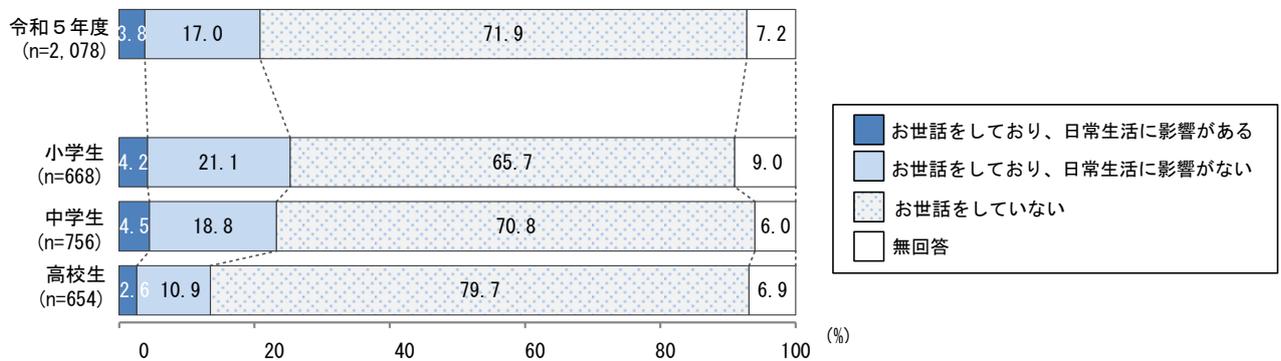
○「家庭での生活が楽しい」と思う児童生徒は増加傾向にある。



家族のお世話の状況

児童生徒

○家族のだれか一人でも「お世話をしている」と回答した児童生徒は全体の約20%となっており、家族のお世話の結果、日常生活に影響があると回答した児童生徒は全体の約4%となっている。

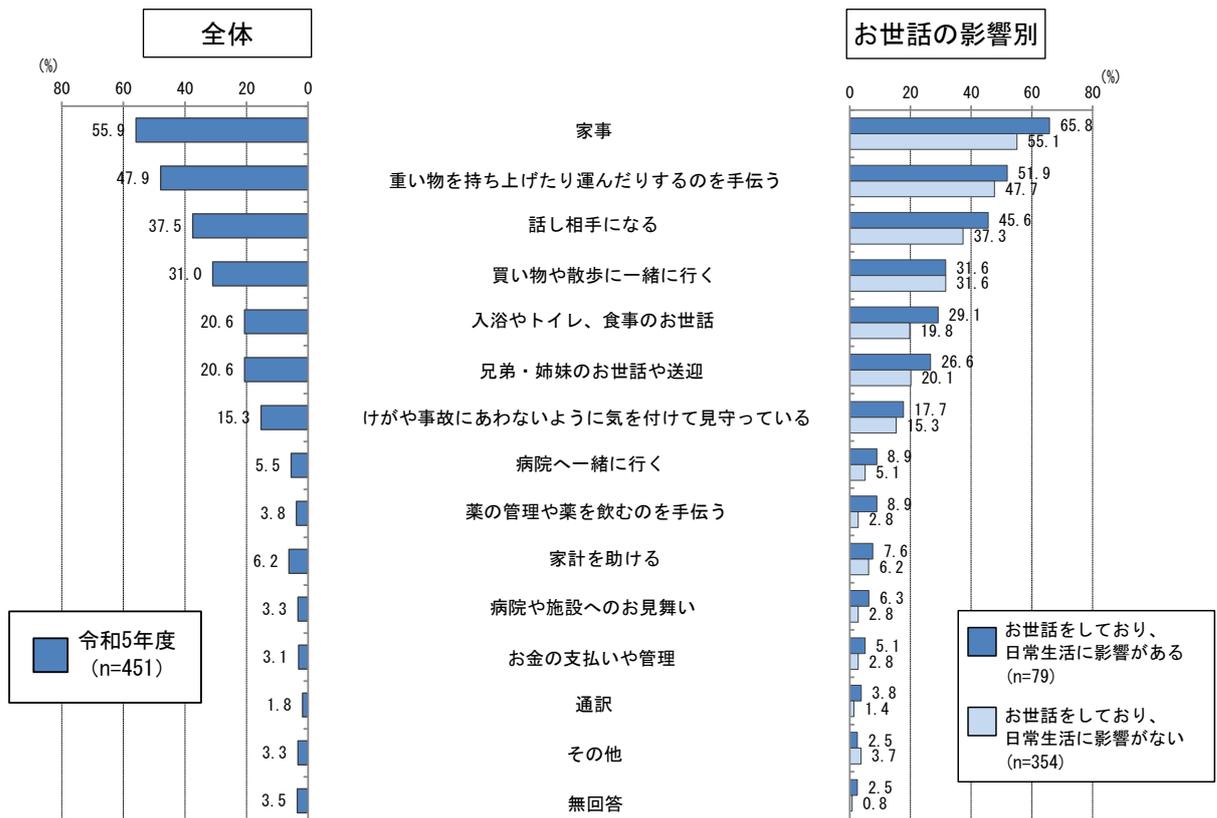


家族のお世話の内容

児童生徒

〈複数回答〉

○お世話の内容としては、「家事」、「重い荷物の持ち運び」、「話し相手になる」の順で割合が高くなっている。



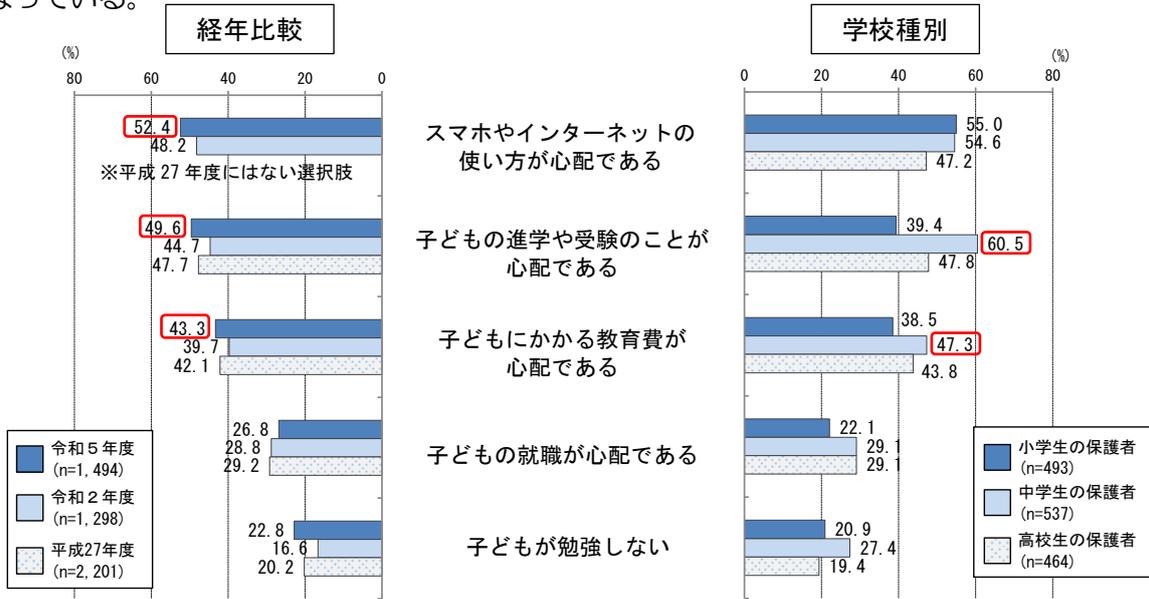
子育てやしつけの悩みや不安

保護者

〈複数回答〉

※上位5位の回答を抜粋

○子どもの「スマホやインターネットの使い方」に加え、「進学や受験」「教育費」への心配が高くなっている。

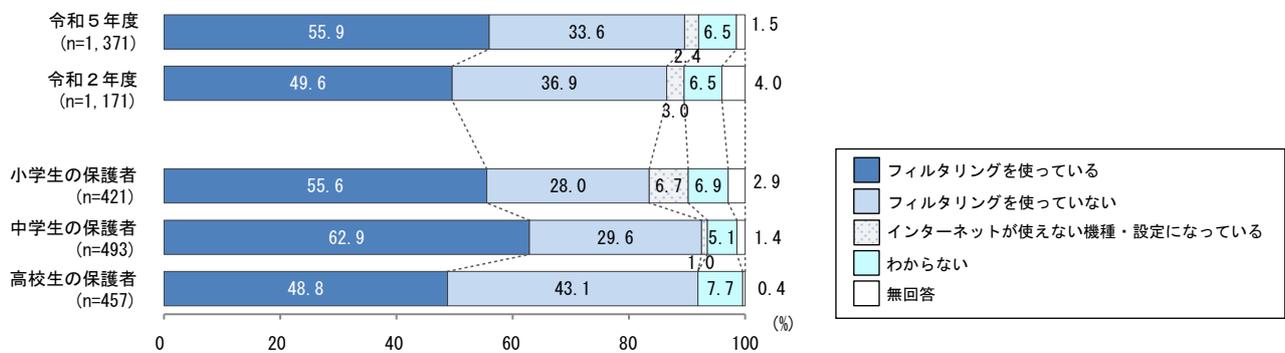


2 スマートフォン・インターネットについて

スマートフォン・タブレットなどのフィルタリングの利用状況

保護者

○児童生徒が使用するスマートフォン・タブレットなどの約半数にフィルタリングが利用されている。

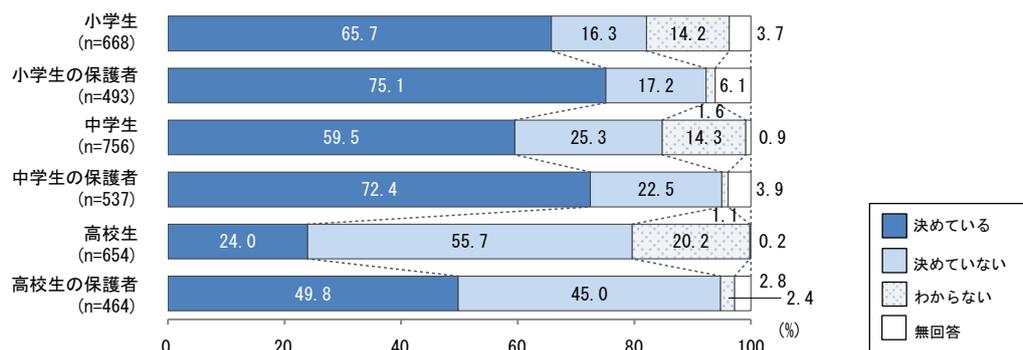


インターネットの使い方に関する家庭でのルール

児童生徒

保護者

○インターネットの使い方について、「何か家庭でルールを決めている」と回答した児童生徒は全体の約50%、保護者全体では約66%であり、どの学校種別も児童生徒が低くなっている。

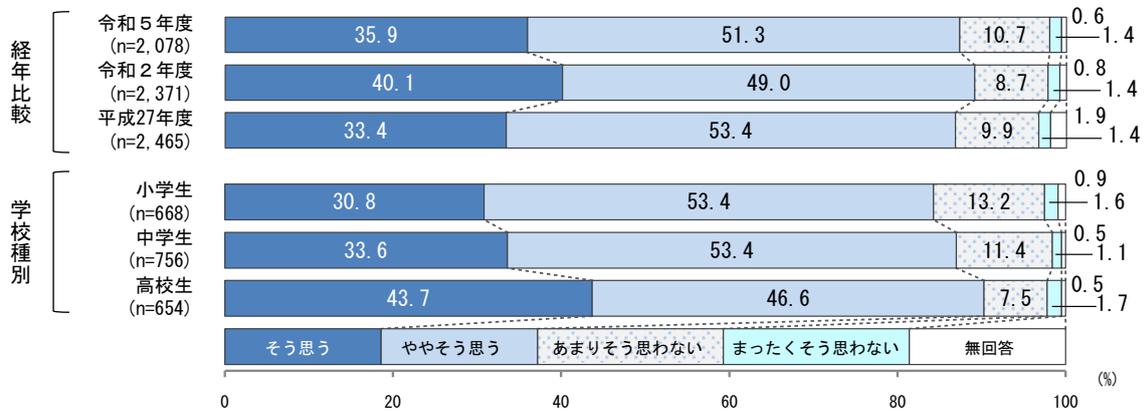


3 自分自身の性格について

きまりやルールをきちんと守るほうだ

児童生徒

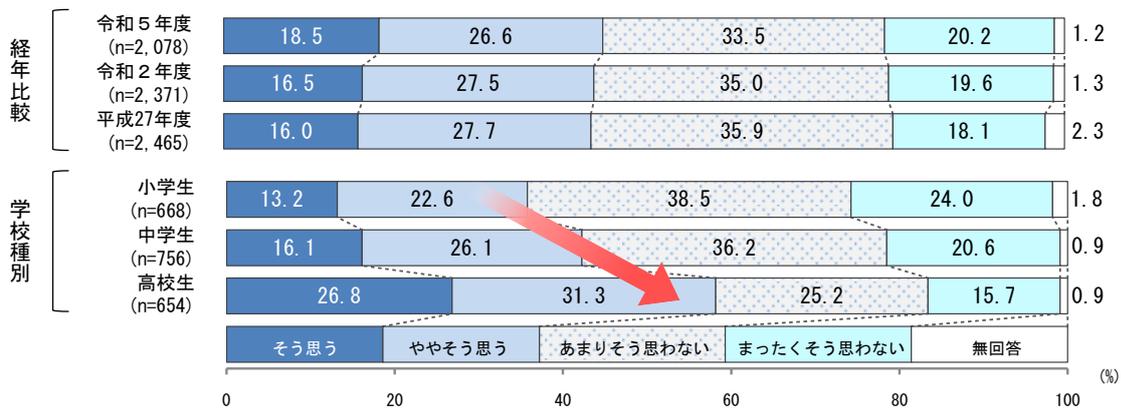
○児童生徒の約9割が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。



つまらないことですぐに落ちこむ

児童生徒

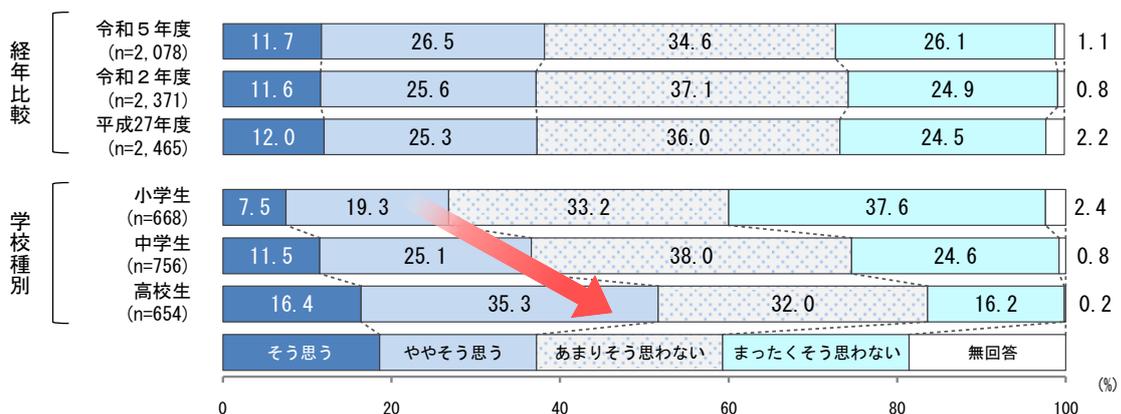
○小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっており、高校生の約6割が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。



自信を持ってやれることがない

児童生徒

○小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっており、高校生の5割以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。

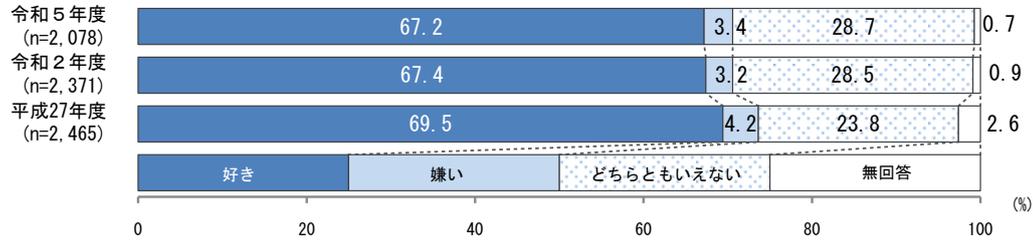


4 地域について

住んでいる地域

児童生徒

○住んでいる地域が好きな児童生徒は約7割と高くなっている。



5 将来の夢について

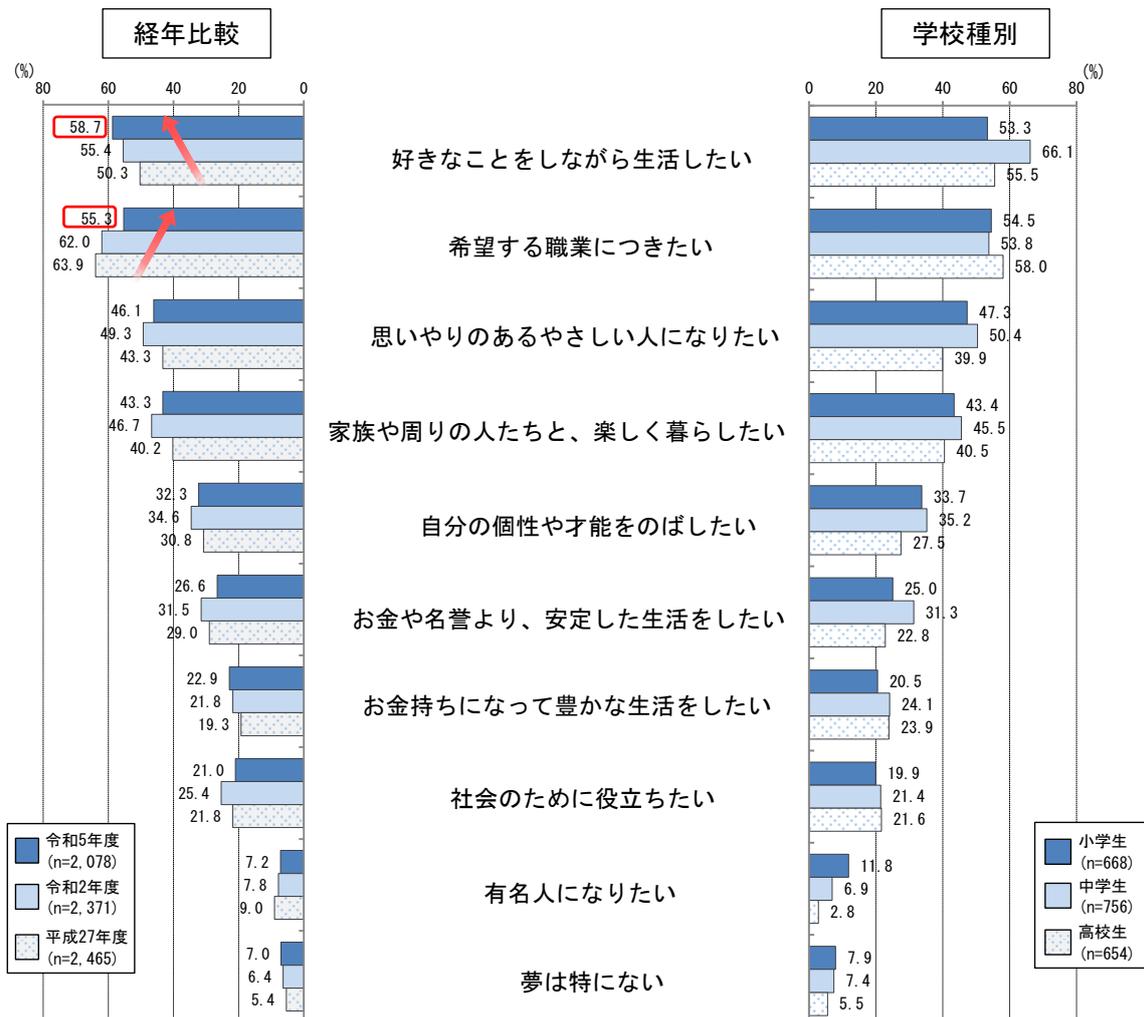
将来の夢

児童生徒

〈複数回答〉

○「好きなことをしながら生活したい」が最も高く、増加傾向にある。

次いで「希望する職業につきたい」が高くなっているが、減少傾向にある。



6 不良行為等について

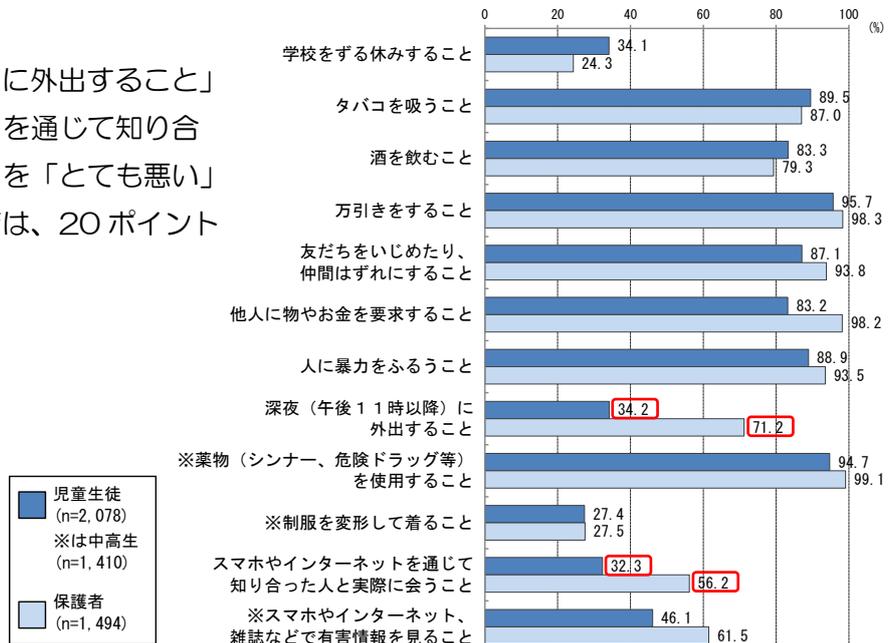
児童生徒と保護者の不良行為等に対する意識

児童生徒

保護者

○「深夜（午後 11 時以降）に外出すること」「スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと」を「とても悪い」とする児童生徒と保護者では、20 ポイント以上の差がある。

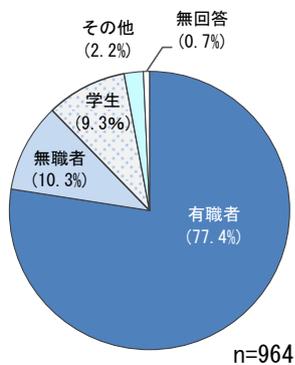
【「とても悪い」と思う不良行為等】



7 仕事について

就職状況

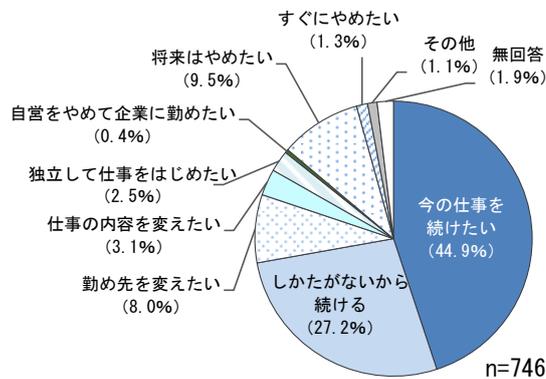
青年



今の仕事についてどう考えているか

青年

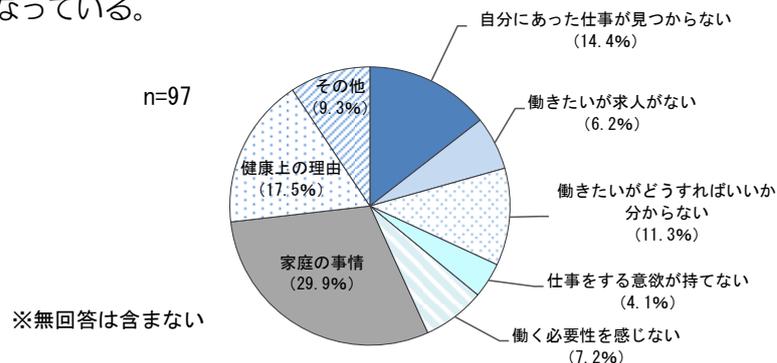
○今の仕事への考えについて、「今の仕事を続けたい」「しかたがないから続ける」「将来はやめたい」などの順となっている。



就職していない主な理由

青年

○就職していない理由としては、「家庭の事情」「健康上の理由」「自分にあった仕事が見つからない」の順で割合が高くなっている。



8 「ヤングケアラー」という言葉の認知について

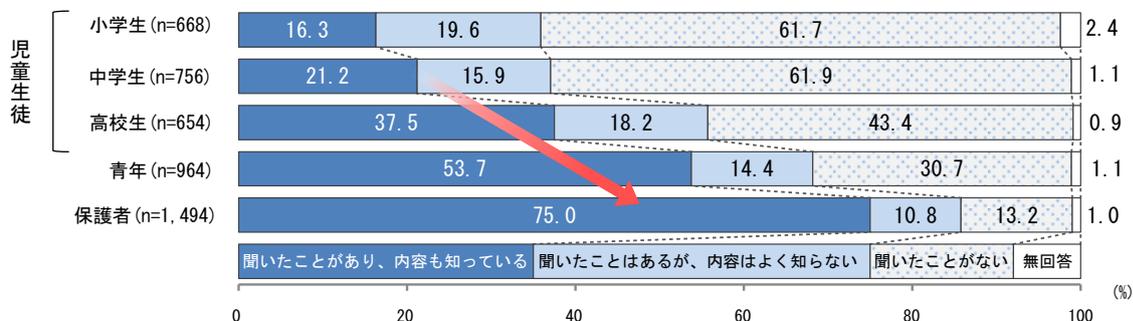
「ヤングケアラー」という言葉を知っているか

児童生徒

青年

保護者

○「ヤングケアラー」という言葉の認知について、年齢層が上がるにつれて「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が高くなっている。



9 相談相手について

心配事や悩みの相談相手

児童生徒

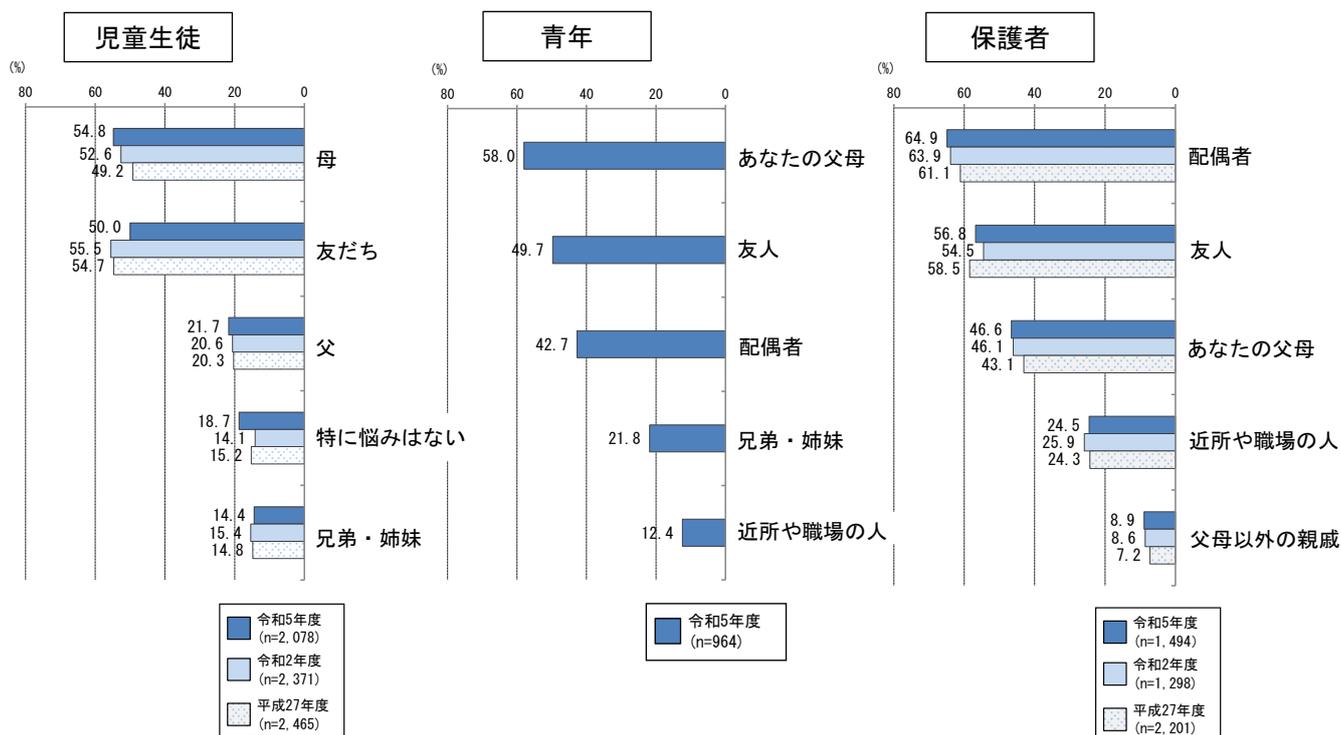
青年

保護者

〈回答は3つまで〉

※上位5位の回答を抜粋

○相談相手では、児童生徒は「母」、青年は「あなたの父母」、保護者は「配偶者」が高くなっている。



調査概要

調査地域：岡山県内

調査対象：①児童生徒：県内在住の小学校5年生から高校3年生までの児童生徒
 ②青年：県内在住の18歳から39歳までの青年
 ③保護者：上記児童生徒の保護者

調査数：①児童生徒：2,739人 ②青年：2,486人 ③保護者：2,739人

調査実施時期：令和5年10月～11月

有効回収数：①児童生徒：2,078人 (75.9%) ②青年：964人 (38.8%)

③保護者：1,494人 (54.5%)

岡山県子ども・福祉部子ども家庭課

700-8570

岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号

TEL：086-226-0557 FAX：086-234-5770